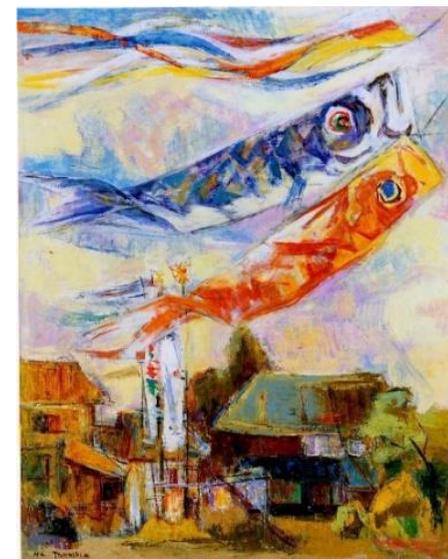




裸の子供 F60 1962



こいのぼり F100

令和元年、金子剛(かねこたかし)先生が傘寿(80歳)を迎えられました。

先生は昭和14年生まれで、鹿島高校から佐賀大学特設美術科へ進まれました。22歳の時に東光展東光賞受賞、日本美術展に初入選され、その後東光会を中心に多くの公募展等でも活躍されました。昭和38年嬉野商業高校に美術教諭として赴任、昭和47年より小城高等学校、昭和61年より佐賀北高等学校・芸術コース、各学校各地域で多くの生徒を育ててこられました。

この度、先生の母校でもある佐賀大学の美術館において、先生の60年以上にわたる創作活動をご紹介するために本展覧会を企画しました。合わせて、これまで多くのことを先生から学び、現在でも親交の深い人たちの作品を展示します。ご高覧よろしく申し上げます。

なお、ご観覧の際にはコロナ感染症の対応として、マスクの着用等のご協力をお願い致します。

ごあいさつ 金子剛
鹿島高校の美術部で岩永京吉先生に石膏デッサンを教わり、油彩画を描くようになりました。佐賀大学では石本秀雄先生の教室で学び、東光展や日展への作品発表を始めました。人物を描くのが好きで、身近な家族をモチーフに、群像としての構成のおもしろさ、家族の温かさやぬくもり、母と子の情愛などを大切にしたいと思ってきました。細部を省略し、色面を重視した表現を心がけて制作を続けています。更に墨彩画や版画などの創作も楽しみの一つです。今回、素晴らしい教え子と共に作品展が出来ることは喜びであり、大変幸せなことです。ご鑑賞、ご批評をお願いします。

金子剛と三十人展

佐賀大学美術館

2021年7月2日(金)～7月11日(日)

10:00～17:00 入館は16:30まで《入場無料》

//5日(月)休館 最終日は16:00まで



WEB版「金子剛と三十人展」
<http://meziro.kobe-du.ac.jp/sanju/>

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| 池田 学 | 杉光 定 | 納富 俊文 |
| 市丸 未来 | 杉光 政実 | 野田 歩 |
| 岡本 猛 | 鈴木 滋人 | 平江 潔 |
| 岡本 貞華 | 高嶋 章一郎 | 古川 昇平 |
| 金子 照之 | 竹之内 園子 | 松藤 孝一 |
| 岸川 健吾 | 田代 利夫 | 松本 展明 |
| 古賀 克徳 | 田中 右紀 | 光瀬 雅一 |
| 櫻木 淳子 | 中尾 和紀 | ミヤザキ ケンスケ |
| 陣内 章代 | 永松 敏彦 | 村山 裕基 |
| 陣内 久紹 | 南里 美紀江 | 森永 昌樹 |

展覧会事務局: 平江潔
〒846-0031 佐賀県多久市多久町 7071-77 ☎ 0952-75-5333



小鳥のいる家族 F130



有明の鳥(白い群れ)P120



クレマチス F20



凧あげ F100



つわぶき F8



有明の朝日 F10



民俗村秋景(墨彩) F30



松のスケッチ



家族 F100



ひとりぼっちの少女 F60



桂林漓江風景 F500



裸婦デッサン



笛を吹く F50

Kaneko Takashi 金子 剛

- 1939 佐賀県鹿島市に生まれる。
- 1955 鹿島高等学校入学 岩永京吉先生に指導を受ける。
- 1958 佐賀大学特設美術科入学 石本秀雄先生に師事
- 1962 東光展東光賞受賞 日本美術展初入選
- 1963 嬉野商業高等学校赴任
- 1965 佐賀県展文部大臣賞受賞(日本画)
- 1972 小城高等学校赴任
- 1986 佐賀北高等学校赴任
- 1987 「金子剛と101人展」 佐賀県立美術館
- 2000 定年退職
「金子剛と教え子達展」 佐賀県立美術館
- 2006 佐賀県芸術文化賞受賞
- 2009 第75回東光展にて「森田賞」受賞
「古希展」～70にして発つ～ 佐賀県立美術館
- 2017 第83回東光展にて「文部科学大臣賞」受賞
- 2020 岩永京吉・金子剛二人展 鹿島市: 岩永京吉美術館



凧をあげる人達 F130

佐賀大学美術館
The Saga University Art Museum
〒840-8502 佐賀市本庄町本庄 1 番地
TEL : 0952-28-8333
FAX : 0952-28-8215
開館時間 : 10:00~17:00

